

社会教育改革重点施策 整理の仕方 ～12月3日佐藤部会長打ち合わせより～

地域に密着した生涯学習支援体制の構築

ア 行政区単位で地域の生涯学習をコーディネート

イ 社会教育施設の活性化

（博物館、図書館、スポーツセンター、市民館など今後の位置づけ）

ウ 市民利用施設のネットワーク化

エ 市民参加の促進

（地域の人材育成と活用、NPO、ボランティアとの連携、IT活用、地域教育会議・行政区生涯学習推進会議の見直し）

学校教育と社会教育の連携

ア 地域社会のセンターとしての開かれた学校

（学校開放、総合型地域スポーツクラブ）

イ 地域社会における子どもの居場所づくり

ウ 学社連携と地域の子育て

（子育て支援、大人と子どもの共同学習、世代間交流）

社会的ニーズの掘り起こしと現代的な市民教育の推進

ア 学習活動への参加に困難をもつ人々に対する参加の機会の充実

（弱者、高齢者、勤労男性などへの学習支援、アウトリーチ）

イ 青少年・フリーター・女性などの社会的自立と就労に向けてのキャリアアップ

ウ 市民教育・キャリア教育支援のネットワーク

（事業所、高校、大学、専門学校、民間機関、地域の専門家などのネットワーク）